



今日の表紙

日光けっこうフェスティバル



10月11日(土)、快晴に恵まれた日光運動公園で日光けっこうフェスティバルが開催されました。

会場では、足尾和太鼓チーム・銅による演奏や農産物の直売、アキグミの苗木の配布など、さまざまなイベントが行われました。

また、サトイモや牛肉、シメジなどを直径2mの大鍋で煮込んだ芋煮が振る舞われ、訪れた大勢の来場者が行列を作り、舌鼓を打っていました。

毎年恒例の、日光下駄の飛距離を競う日光下駄飛ばし選手権大会では、履き慣れない下駄を真上に飛ばしたり目の前に落としたりと、悪戦苦闘する挑戦者が続出し、観客から歓声が上がっていました。

友人同士、親子で参加した星陽翔くん・黒子健一郎くんは、「楽しかった!」「お母さんがすごかった!」と元気いっぱいに答えてくれました。



3世代マルシェ
血縁や世代を超え、飾らず気軽に話を交わす機会として、毎月第3月曜日に今市宿市緑ひろばで開催されています。
会場では無農薬野菜やそうざい、地元木材で作ったおもちゃの販売など、こだわりの商品がふんだんにそろっています。
取材当日も、さまざまな世代の方が集まり、にぎわっていました。



若者出会い応援イベント
10月25日(土)栗山地域で「超ワイルド! 絶景すぎる秋の石焼きパーティー」が開催されました。これは、瀬戸合峡でのハイキングや栗山地域の伝統料理である石焼きを通して男女の交流を図るイベントです。
県内外から男女計25名が参加し、地域の魅力を体験しつつ新しい出会いを楽しんでいました。



奥鬼怒・川俣温泉新そば祭
11月3日(月・祝)、川俣温泉運動広場を会場に、新そば祭が開催されました。
当日は、小雨まじりのあいにくの天気となりましたが、地元旅館組合の他、栗山地域のそば店4店舗の自慢のそばに、訪れた多くの観光客は舌鼓を打っていました。
茨城県日立市から家族5人で旅行に来た、矢吹さん一家は「温



泉、紅葉とても素晴らしいです。今日のおそばも、今までで一番おいしいです」と話していました。
また、会場では男性・女性・子どもの部に分かれたそばの早食い競争も行われ、女性の部で優勝したリ・ブンセイさん(東京都)は、「温泉、紅葉とても良かったです。おそばがとてもおいしかったです」と笑顔で答えてくれました。



ライトアップ日光
10月31日(金)~11月3日(月・祝)、世界遺産「日光の社寺」などを照明で彩る「ライトアップ日光」が開催されました。
このイベントは今年で20回目。今年の世界遺産登録15周年にも当たります。
初日の31日は、日光少年少女合唱団のメンバーが、手話を交えた歌声でオープニングを飾りました。



逍遙園ライトアップ
10月25日(土)~11月15日(土)、日光山輪王寺の日本庭園「逍遙園」で、毎年恒例の園内ライトアップイベントが開催されました。
園内は、10種類以上のカエデの木が紅葉の見頃。幻想的な光景を一目見ようと、夜間にも関わらず大勢の来場者たちでにぎわっていました。



今市屋台まつり
10月19日(日)、JR今市駅前通りで、毎年恒例の今市屋台まつりが開催されました。
天気にも恵まれ、温かい陽気に包まれたこの日は、彫刻屋台6台、花屋台4台が繰り出され、多くの観客でにぎわっていました。
日が暮れると屋台の提灯に明かりが灯り、屋台の美しさを引き立てていました。



メインイベントの総ぶっつけでは、会場は笛と太鼓の音色でいっぱいとなり、最高の盛り上がりを迎えていました。
小杉さん(鹿沼市)は「孫が太鼓をたたいているので、誘われて来ました。初めて見たのですが、和気あいあいとしていてよかったです」と楽しそうに話してくれました。

ひやくものぞろえ 百物揃千人武者行列



10月17日(金)、日光東照宮秋季祭の中心行事、百物揃千人武者行列が、山内の表参道などで開催されました。この行列は、徳川家康公の神霊を久能山(静岡県)から日光へ改葬したときの様子を再現したものです。

この日は総勢約800人が、鎧武者や槍持ち、鉄砲持ち、鷹匠など53種類の役柄に扮し、表参道から御旅所までの約1kmを練り歩きました。

沿道に集まった観客たちは、武者などのきらびやかな衣装に見入ったり、体を乗り出して盛んにシャッターを切ったりと、思い思いに行列を楽しんでいました。

秋田県から家族で訪れた佐竹さんは、「前から見に行きたいと思っていたのですが、娘夫婦に連れてきてもらい夢がかないました。行列はとても勇壮であって楽しかった」と満足した様子でした。

